

「すみだ健康づくり総合計画」 進捗状況（概要版）

令和6年12月11日
墨田区保健衛生協議会（資料3）

計画の期間・位置づけ

1 計画期間

2016（平成28）～2025（令和7）年度までの10年

2 計画の位置づけ

国及び都の健康や医療に関する計画等を捉え、区の上位計画にあたる「墨田区基本構想」、「墨田区基本計画」の健康に関する施策及び基本的な考え方を踏まえながら、区民の健康づくりに関する最上位の計画としている。

3 計画の中間改定

令和4年3月「健康寿命をのばし、誰ひとり取り残さない『健康長寿日本一のまち』の実現」を掲げた後期計画を策定した。

基本目標

日常生活のデジタル化、データヘルスの促進、少子高齢化等の社会情勢を踏まえ、また持続可能な開発目標（SDGs）の取組を施策に取り入れて後期計画を策定したことに伴い、基本目標を再設定し、4つの基本目標と28の基本施策とした。

【後期計画基本目標】

- （1）ライフコースを意識した健康づくりの推進
- （2）包括的な親と子の健康づくりの推進
- （3）支えあい、自分らしく生きることができる地域づくり
- （4）安全・安心な保健・医療体制及び健康を支援する地域環境の整備

令和4年度事業の評価（達成度）

A：計画通り実施し、すみだ健康づくりの視点において効果を発揮した。
B：計画通り実施したが、すみだ健康づくりの視点において課題が残る。
C：計画に遅れが生じている
その他：計画の見直しが生じている。

目標	事業数	評価			
		A	B	C	その他
基本目標1	74	69	4	0	1
基本目標2	43	43	0	0	0
基本目標3	63	61	1	0	1
基本目標4	66	65	1	0	0
合計	246	238	6	0	2

「B評価」「その他の」事業の状況

事業名	目的・内容	5年度実績	評価・方策
各種がん検診の実施 -14 がん検診受診率の向上 -16	区民の死亡原因の第1位であるがんの早期発見・早期治療につなげるため、科学的根拠に基づき、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんについて、医療機関等で検診を実施する。	・がん検診受診率：胃がん9.9%、大腸がん21.3%、肺がん9.5%、子宮頸がん19.9%、乳がん23.6% ・各がん検診の個別通知により受診勧奨等を実施。	【評価】B 検診受診者数は全体的に横ばい 【方策】 ・胃がん検診で全対象者への受診勧奨（試行） ・区内各薬局にポスター等掲示・配布 ・電子申請等でオプトアウト方式（試行）を導入
成人歯科健康診査の実施 -39	20～70歳（5歳節目）の区民を対象に歯科健診を行い、むし歯や歯周病等の予防と早期発見、適切な時期での治療を推進し、健康の保持・増進を図る。	健診票送付数：42,773件 受診者数：4,777件 受診率：11.2%	【評価】B 受診率が横ばい 【方策】 受診勧奨（はがき、LINE等）、受診しない理由の調査
路上喫煙防止対策の実施 -58	路上での喫煙によるやけど等の被害の防止、たばこの吸殻の散乱防止等、マナー向上のため制定した「墨田区路上喫煙等禁止条例」に基づき、路上喫煙防止対策を推進します。	・啓発指導員によるパトロールの実施（5推進地区） ・啓発物資の配布によるPR活動の実施 ・喫煙所の整備	【評価】B 喫煙所についての要望が多く、整備の方法について再検討が必要である。 【方策】受動喫煙緩和のために設置するパーテーションについて、煙の流れを変えるなどの改良を進める。
小地域福祉活動の推進 -56	町会・自治会等の顔が見える範囲で、その地域に住むすべての方を対象とした、ふれあいサロンでの交流、見守りや声かけ、戸別訪問等地域の特性に応じた支え合いや助け合いを行う小地域福祉活動を推進します。	小地域福祉活動実施32地区、ふれあいサロン実施11地区、拠点型ふれあいサロン実施3地区、おもちゃサロンの実施2カ所、地域福祉プラットフォームの実施3カ所、地域福祉活動セミナーの開催	【評価】B 新型コロナウイルス感染症拡大期に休止した地域で担い手の高齢化等で再開に至らない地域がある。 【方策】 セミナー等を実施して新たな担い手を発掘する。
ゼロ次予防を意識した都市デザインの推進 -62	地域と大学の交流空間となるあずま百樹園の整備にあたり、ゼロ次予防を意識したデザインを取り入れ、新しい時代の健康づくりの実現に役立てます。	キャンパスコモン内に、ウェルネストラックを常設設置する。	【評価】B イベント等でウェルネストラックの体験は行ったが、常設設置には至らなかった。 【方策】 常設設置に向けて大学と調整を行う。
健康的な食環境づくり -27	健康の基本となる食環境について、区民の中食や外食の利用が多くなっていることから、健康的な食を提供する区内飲食店を増やし、その取組を見える化することにより、「自然と健康になれる持続可能な食環境づくり」を推進します。	区民20～59歳に栄養（野菜）摂取量調査を行った。 [対象者数]1000人 [有効回答数]418人 [回答率]約42%	【評価】その他 本調査の結果等（野菜摂取量が少ない等）を踏まえ、働きかけの対象や内容を再考していく。
障害者（児）スポーツと文化芸術活動の普及と充実 -34	障害のある人（子ども）やその家族、地域の人々が交流できる機会の充実を図ります。また、障害者スポーツの普及やレジャーの場の充実により、生きがいづくりを支援します。	新型コロナウイルスの対策が困難等の理由から令和5年度は中止となった。	【評価】その他 実施の可否を協議する。

主な事業の実績（令和５年度）

【基本目標１】ライフコースを意識した健康づくりの推進

（１）がんの相談・支援体制の整備＜ -21＞

・がん患者ヘウigg等補整具の助成事業を開始した。（１２２件）

（２）区民健康体操（すみだ花体操）等の普及＜ -36＞

・各イベント等で区民体操（すみだ花体操）を実施。延べ11,058人参加

（３）リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する普及啓発＜ -65＞

・医療関係者、助産師養成所等と連携してリーフレットを作成・配布した。

【基本目標２】包括的な親と子の健康づくりの推進

（４）妊婦健康診査の実施＜ -4＞

・妊婦超音波検査受診票を1枚から4枚に拡充した。

（５）産後ケア事業＜ -8＞

・宿泊型（250人898回）、日帰り型（291人312回）を拡充した。

（６）すみだ子育てアプリ→LINE「きずなメール」の配信＜ -14＞

・子育て情報を墨田区公式LINEから「きずなメール」を配信した。

【基本目標３】支えあい、自分らしく生きることができる地域づくり

（７）在宅高齢者訪問歯科診療の充実＜ -5＞

・通院が困難な高齢者の訪問指導を行った（85件）

（８）在宅リハビリテーション支援事業の実施＜ -9＞

・在宅支援リハビリテーション事業を実施した。臨時相談会1回、区民公開講座1回、利用実人数21人

（９）地域・職域連携推進協議会（仮称）の設置＜ -41＞

・区内企業を対象に健康経営セミナーを実施した。すみだ健康チャレンジ宣言18社、すみだ健康経営顕彰5社

（１０）災害時食支援ネットワークの推進＜ -54＞

・「災害時の要配慮者食支援マニュアル」とアクションカードを活用した模擬訓練を実施した。

【基本目標４】安全・安心な保健・医療体制及び健康を支援する地域環境の整備

（１１）新型インフルエンザ等対策の充実＜ -1＞

・これまでの区の新型コロナウイルス感染症対応の振り返りを行い「感染症予防計画」を策定した。

（１２）エイズ相談・検査の実施＜ -7＞

・通常検査のほか、6月と12月即日検査を実施（126件）した。

（１３）自主管理の推進（ -17）

・HACCPに沿った衛生管理を支援するために食品衛生自治指導員による自主点検表の確認を実施（149件）した。

（１４）熱中症対策の推進（ -33）

・薬剤師会と薬局における啓発、熱中症予防川柳、セミナー・イベントを実施した。

令和５年度の総合評価

新型コロナウイルス感染症が２類から５類となり、事業実施への影響はほぼなくなったが、影響が続いているものも見られた。

がん検診受診率の向上のために受診方法や勧奨方法の見直しを実施して効果が見られている健診もあるが、全体的には受診率は横ばいのため、引き続き受診勧奨の工夫を要している。

また、「こどもどもんなか すみだ」の中で、さらなる子育て支援の充実が求められており、妊婦健康診査や産後ケア事業の充実を図った。

令和６年度の主な取組

（１）各種がん検診の実施＜事業番号 -14＞・がん検診受診率の向上 ＜事業番号 -16＞

・（**拡**）受診率向上施策として胃がん検診について全対象者への受診勧奨、電子申請における複数のがん検診受診に導くための オプアウト方式の導入を実施する。

（２）食に関する普及啓発 ＜事業番号 -23＞

・（**拡**）電話・面談での食事相談に加え、オンライン相談実施の整備を行う。

（３）被保護者の健康管理支援事業の実施＜事業番号 -6＞

・（**拡**）3年間の実績を踏まえ、事業をより効果的に進めるために保健師を新たに配置する。

（４）乳幼児からのデータヘルスの推進＜事業番号 -16＞

・（**拡**）母子保健情報を分析して健康課題を明らかにする。

（５）包括的支援体制整備事業＜事業番号 -59＞

・（**拡**）地域プラットフォームを区内に新規で2か所増設する。

（６）環境衛生関係営業施設に対する監視指導の実施 ＜事業番号 -28＞

・（**拡**）環境衛生関係営業施設の監視指導を実施するほか、住宅宿泊事業（民泊）届出住宅の調査指導も実施する。

（７）新保健施設等複合施設の整備＜事業番号 -58＞

・（**継**）新保健施設の建築工事完了、付帯設備、施設運用・管理の検討、新しい働き方の検討、移転準備・作業等を行い、11月5日の開設を目指す。

計画の推進に向けて

引き続き、健康長寿のまちづくりとSDGsの実現に向けた施策に取り組み、来年度の計画改定に向け、基礎調査を実施する。

また、DX（デジタル・トランスフォーメーション）により区民サービスの向上を図り、健康に関するデータの活用等を行い、エビデンス（科学的根拠）に基づいた事業展開を進める。